

出張報告書

令和 元 年 11 月 11 日

市議会議長 様

会 派 名 大阪維新の会

代表者氏名 堂本啓祐

下記の通り報告します。

記

1. 目 的 第 81 回全国都市問題会議出席
2. 出 張 先 鹿児島県霧島市
3. 出張期間 令和元年 11 月 6 日（水）～11 月 8 日（金）
4. 出張者氏名 堂本啓祐、倉田賢一郎（計 2 名）
5. てん末報告

別紙のとおり

第 81 回全国都市問題会議(参加顛末)

令和元年 11 月 11 日
会派名 大阪維新の会
代表氏名 堂本啓祐

日 時:令和元年 11 月 7 日(木)～11 月 8 日(金)

場 所:霧島市国分体育館

参加者:堂本啓祐、倉田賢一郎

行 程:

11 月 6 日(水)	KIX 発(1830)→MM190 → KOJ(1945)→ホテル
11 月 7 日(木)	ホテル→シャトルバス→ 会場 →シャトルバス→ホテル
11 月 8 日(金)	ホテル→シャトルバス→ 会場 →行政視察 KOJ(2025)→MM200→KIX(2135)

第81回全国都市問題会議のテーマは「防災とコミュニティ」

基調講演(志学館大学教授)に続いて、一般報告や 2 日目はパネルディスカッションが行われた。
特に広島市長、静岡県三島市長の報告が印象に残った。

【平常時】

- ・自分の市町は大丈夫であろうと予断を持たず、災害への備えを取っておくこと。
- ・その際、いかに住民に「災害は身近に起こりうるもの」という当事者意識を持ってもらうかを意識すること。
- ・大規模・広域自然災害に備え、近隣の市長との危機管理体制の連絡を図ること。

【災害発生の可能性が高まった時】

- ・狼少年論を恐れることなく、人命を大切にすることに最善を尽くすのみという覚悟を持つこと。

【復旧・復興時】

- ・復旧にあたっては、単に機能復旧するだけでなく、その地域に住んでいる住民がこれからも愛着を持って進み続けられるような街にしていくという視点を持つこと。
- ・前例にとらわれず、常に検証を行い必要な改善を行うこと。
- ・災害を記憶に残し、検証を図っていくこと。(以上広島市長)

- ・災害関連マニュアルの整備ができているか—避難所開設アクションシート等。
- ・関係機関との応援協定(覚書)の整備。
- ・民間事業者との連携体制。
- ・情報発信の方法—今回、HP がパンクしたり、防災無線が聞こえない等の事象があった。
LINE の活用はどうか。

また、災害発生時には、外国人を含む災害弱者、フェイクニュース、町内会無加入者や無関心層への対応を課題として認識しておくべき。(以上 三島市長)

〔行政視察〕

黒酢文化と国内最古最大級の集落遺跡を訪ねるコース。